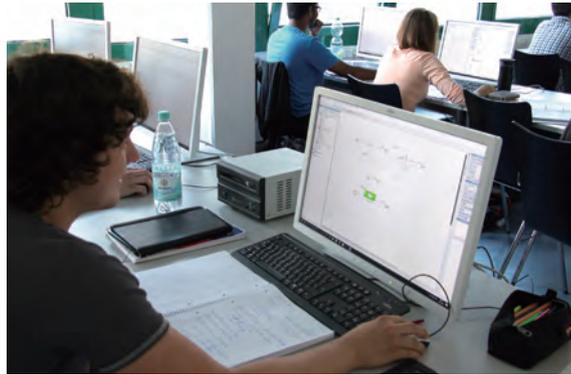


## ASCET at the University Lab

# 大学のラボで ASCET を体験

シュトゥットガルト大学においてモデルベースのソフトウェア開発のセミナーを開催

ETAS とシュトゥットガルト大学との緊密な協力関係の一環として、ETAS の常駐エンジニアである Andy Staats と Christoph Schlegel が「自動車ソフトウェアのモデルベース開発」という演題のセミナーを開催しています。このコースを受講する学生たちは、ECU のプログラミングに使用されるソフトウェアアーキテクチャや手法について実践的に学ぶことができます。ここで特に焦点が当てられている「モデルベース開発」という手法は、抽象化による再利用性や品質向上を実現できるという理由で自動車産業界のソフトウェア開発に好んで用いられているものです。コースの中心となるのはコンピュータラボでの実践練習で、ECU ソフトウェア開発の手法に重点を置いたものが行われます。学生たちは ETAS ASCET で ECU ファンクションのモデリングを行い、そのモデルを ETAS ES910 プロトタイピング/インターフェースハードウェアなどのラビットプロトタイピングハードウェアでテストします。「ETAS の ASCET ラボで小グループに分かれ多くの問題をこなしていくことは、とても有益です。学習した知識とスキルを応用すること



シュトゥットガルト大学の ASCET ラボでは、学生たちがソフトウェア開発を通じて実践的な経験を積む機会を得ることができます。

ができ、ミスから学ぶこともできるからです」と Andy Staats は語り、さらに次のように力説します – 「学生たちにとっての一番のメリットは、自動車産業界で実際に使用されている手法やソフトウェアとハードウェアについて習熟できることです」。これは「理論と実践」の組み合わせが有意義であることを示すよい一例といえるでしょう。

## Students Develop Autonomous Race Cars

# 学生たちが自動運転のレースカーを開発

ETAS が未来技術の実践経験を支援

学生フォーミュラドイツ大会は、学生が自動車産業界における開発の過程を実際に経験できる絶好の機会です。自動車産業界で活躍するには、燃焼機関や電気エンジンといった技術の専門知識が必要となります。自動運転の時代となった今日、学生は自動運転技術に関する知識も確実に身につける必要があります。このような理由から、学生フォーミュラは今年度から新たに Formula Student Driverless (FSD) という自動運転のフォーミュラカーレース大会を立ち上げました。この大会では分野を横断したコラボレーションに重点が置かれ、自動車技術や電気工学の分野の学生たちがコンピュータサイエンス、データ処理、センサ技術を専攻する学生たちと協力して、FSD で規定される要件を満たすレースカーを開発します。

学生フォーミュラ参加チームのスポンサーを長年務めている ETAS は、2017 年から FSD の後援も行っていきます。チームは年間を通して、特にシーズン中は ETAS から各種製品や専門家によるテクニカルサポート、そして金銭面でのサポートを受け



ることができます。このため、参加する学生たちは技術的な専門知識を身に付けるだけでなく、卒業前に ETAS 製品を経験する機会を得られます。その結果として、彼らは FSD 競技においても、また将来のキャリアにおいても、有利な位置に立つことができます。

KA-Racing  
Driver-less 2017  
(カールスルーエ  
工科大学)